

## マンション修繕積立金

## 自宅担保に融資

構築機  
備え  
住宅  
老朽化

老朽化が進むマンションの修繕を金融支援する仕組みができる。住宅金融支援機構はマンション所有者が自宅を担保に修繕積立金を借りられるローン

を2020年度中に投入する。大規模修繕の費用を民間金融機関と協

調融資することも検討する。今後、一段と深刻な問題になりかねない住宅資産の劣化を資金面から防ぐ仕組みを官民で築く。機構は毎月の修繕積立金を将来分もまとめて貸し出す。一般に修繕積立金は月1万〜2万円程度

かかる。借り手は利息の支払いだけで済み、負担が軽くなる。元金は死亡後に自宅の売却で返済。高齢者が自宅を担保に生活資金を借り、死後に物件を引き渡すリバースモーゲージのマンション修繕版と呼べる仕組みだ。

管理会社は修繕積立金が増えるタイミングで活用すれば意見集約がしやの心配がなくなる。積立すくなるメリットもある金の値上げなど住民負担とみられる。